

【広島市消費者物価指数】

1 平成 26 年 11 月の動向

- 広島市総合指数（102.6）は前月比で2か月連続の下落。前年同月比は17か月連続の上昇。
- 生鮮食品を除く総合指数（102.7）は前月比で2か月ぶりの下落。前年同月比は17か月連続の上昇。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（100.2）は前月比で2か月ぶりの下落。前年同月比は14か月連続の上昇。

2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	102.6	▲0.4	2.2
生鮮食品を除く総合指数	102.7	▲0.1	2.3
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	100.2	▲0.2	1.4

3 前月からの動き

～住居は上昇、食料及び教養娯楽は下落。～

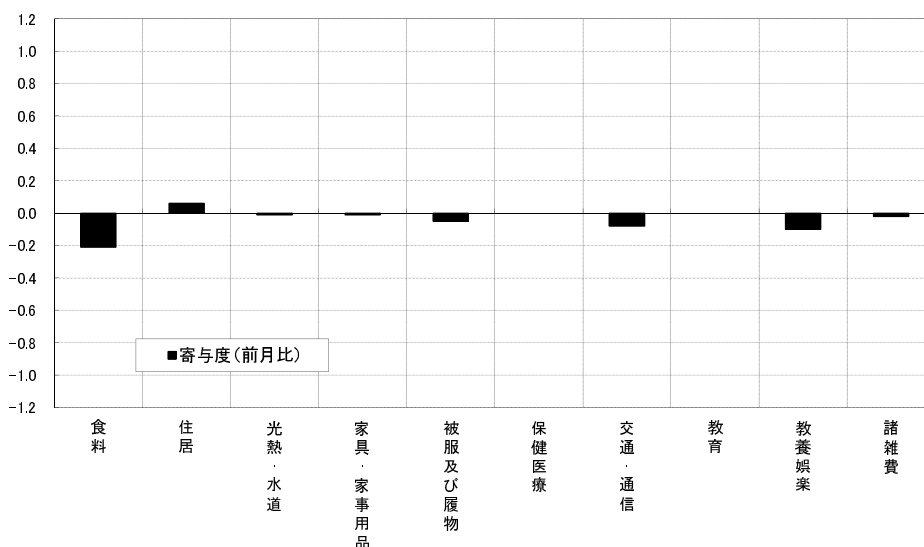
(1) 10 大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	102.6	104.7	99.6	113.6	91.8	106.2	100.3	104.3	98.2	95.3	109.2
前月比 (%)	▲0.4	▲0.8	0.3	▲0.2	▲0.2	▲1.0	▲0.1	▲0.5	0.0	▲0.9	▲0.3
寄与度	▲0.4	▲0.21	0.06	▲0.01	▲0.01	▲0.05	0.00	▲0.08	0.00	▲0.10	▲0.02

(参考) 主な要因となっている 10 大費目について、寄与の大きかった中分類項目

- 住 居：家 賃（前月比 0.4%，寄与度 0.06）等
- 食 料：野 菜 ・ 海 藻（前月比 ▲8.6%，寄与度 ▲0.24）等
- 教養娯楽：教養娯楽サービス（前月比 ▲1.4%，寄与度 ▲0.08）等

図 1 10 大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したものの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
家賃 (持家の帰属家賃 等)	0.4%	野菜・海藻 (キャベツ 等)	▲8.6%
肉類 (豚肉[もも] 等)	0.8%	教養娯楽サービス (外国パック旅行 等)	▲1.4%
菓子類 (ポテトチップス 等)	0.8%	自動車等関係費 (ガソリン 等)	▲1.0%
家事雑貨 (電球・蛍光灯等 等)	1.3%	シャツ・セーター類 (婦人Tシャツ[長袖] 等)	▲4.5%
家事用消耗品 (ポリ袋 等)	0.8%	果物	▲1.9%

4 前年同月からの動き

～食料及び光熱・水道は上昇, 教育は下落。～

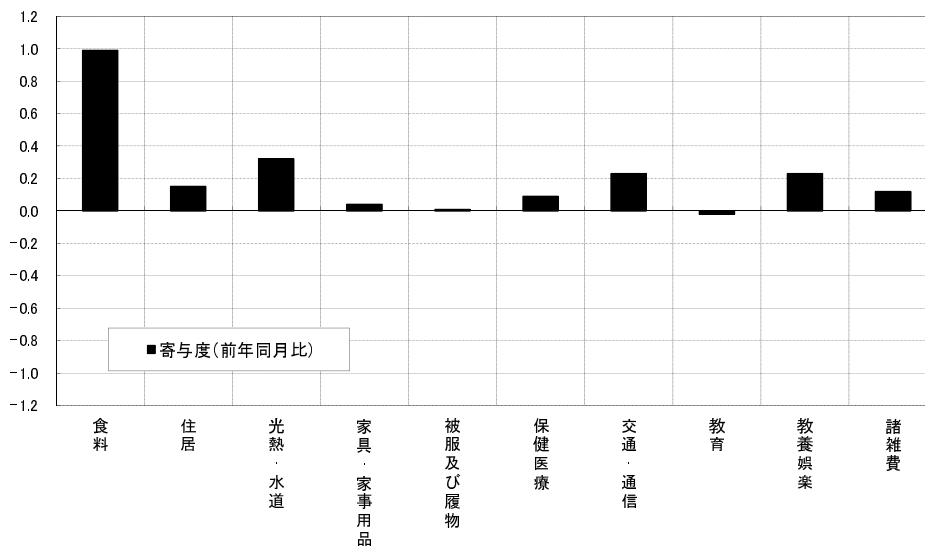
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	2.2	3.9	0.8	4.0	1.3	0.3	1.9	1.6	▲0.7	2.1	1.8
寄与度	2.2	0.99	0.15	0.32	0.04	0.01	0.09	0.23	▲0.02	0.23	0.12

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

- 食 料：肉 類 (前年同月比 10.7%, 寄与度 0.25) 等
- 光熱・水道：電 気 代 (前年同月比 4.6%, 寄与度 0.18) 等
- 教 育：補習教育 (前年同月比 ▲9.0%, 寄与度 ▲0.05) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
肉類 (牛肉[国産品] 等)	10.7%	野菜・海藻 (レタス 等)	▲5.1%
外食 (焼肉 等)	4.7%	シャツ・セーター類 (婦人Tシャツ[長袖] 等)	▲6.6%
魚介類 (さけ 等)	9.7%	補習教育 (補習教育[小学校] 等)	▲9.0%
交通 (高速自動車国道料金 等)	8.2%	教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	▲2.0%
電気代 (電気代 等)	4.6%	寝具類 (ベッド 等)	▲3.7%